

レッドリストサンゴ類の生息状況等について

令和4年6月

沖縄防衛局

移植先におけるオキナワハマサンゴの 生息状況等について

1.移植したオキナワハマサンゴの生息状況について

(1)モニタリング実施状況(移植から移植約3年9ヶ月後まで)

オキナワハマサンゴ9群体の移植は、平成30年7月27日～8月4日にかけて実施。

移植後のモニタリングは、移植直後の平成30年7月31日から開始し概ね週2回の目視による経過観察を実施。移植後約1年が経過した令和元年9月10日からは、週1回の頻度で実施。移植後約3年3ヶ月が経過した令和3年11月17日に沖縄県との協議を経て月1回の頻度に変更し、引き続き目視による経過観察を継続しているところ。

以下に、直近約1年間のモニタリング実施日を示す。



モニタリング実施状況
(撮影日:令和4年5月11日)

モニタリング実施日一覧 (直近約1年間)

区分	年月		調査日					備考	
			1回目	2回目	3回目	4回目	5回目		
移植後3年目		6月	2日	9日	15日	22日	28日		
		7月	6日	13日	28日			台風の接近(7月19日～25日)	
移植後4年目	令和3年	8月	2日	13日	17日	24日	31日		
		9月	8日	14日	22日				
		10月	1日	16日	19日	26日		高波浪(10月4日～10日)	
		11月	2日	9日				11月17日に月1回に変更	
		12月	6日・11日						12月6日が半日荒天のため、2日間に分けて実施
		令和4年	1月	5日					
	2月	7日							
	3月	3日							
	4月	1日							
	5月	11日							

※ 表には、モニタリング開始の平成30年7月31日以降のうち、直近約1年間の実績を示す。

※ 移植したオキナワハマサンゴのモニタリング実施日のみを示す。

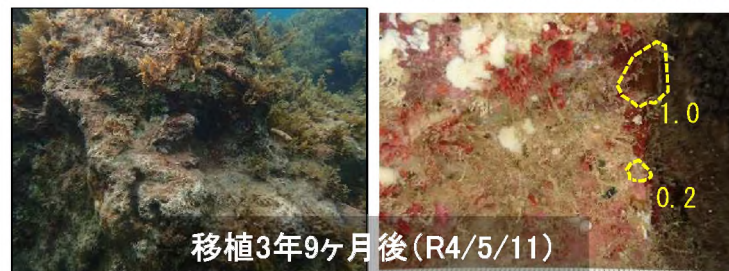
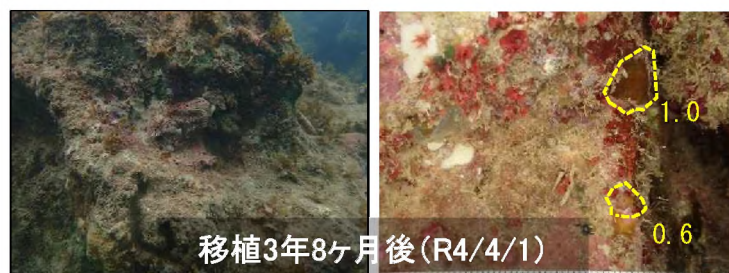
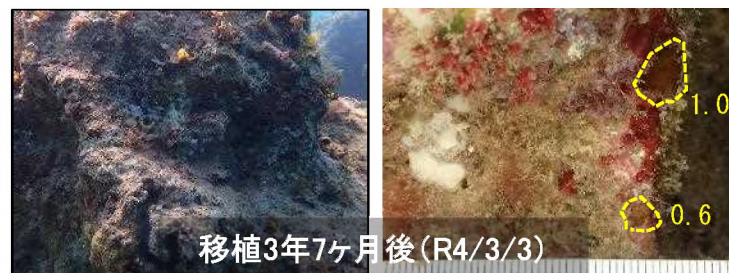
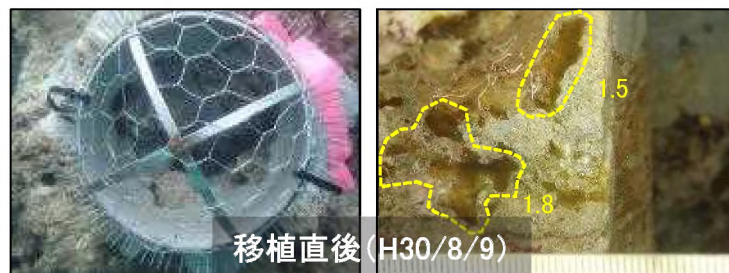
(2)オキナワハマサンゴ(No.16)の移植先でのモニタリング状況

(平成30年7月30日、移植作業を実施)

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。

移植後の状況

移植後の目視観察結果の概要



項目		内容			
諸元	調査時期	移植直後	移植3年7ヶ月後	移植3年8ヶ月後	移植3年9ヶ月後
	調査年月日	H30/8/9	R4/3/3	R4/4/1	R4/5/11
	調査時刻	9:18~9:30	10:14~10:24	10:53~11:03	10:15~10:25
	調査場所	※ 重要な種の保護の観点から表示していません。			
生息環境	水深(m) ^{※1}	2.3m	2.9m	2.6m	2.7m
	水温(°C)	29°C	20°C	22°C	24°C
	底質(比率)	岩盤90%、砂10%			
	浮泥の状況	少ない(はたけば舞う程度)			
	海草類被度	0%	0%	0%	0%
群体の状況	海藻類被度	40%	5%未満	5%未満	5%未満
	サンゴ被度	5%未満	5%未満	5%未満	5%未満
	サイズ(長径) ^{※2} (cm)	左1.8cm 右1.5cm	右 1.0cm 右下 0.6cm	右 1.0cm 右下 0.6cm	右 1.0cm 右下 0.2cm
	食害状況	なし	なし	なし	なし
	白化状況	なし	なし	なし	なし
再生産状況 [延べ幼生放出確認数]	その他の異常 ^{※3}	なし	なし	なし	なし
	再生産状況	なし	なし [2個体]	なし [2個体]	なし [2個体]
特記事項		部分死を確認。		一部、ポリプ・共肉が確認できないことから長径を縮小。	

※1 水深は、モニタリング実施時の実水深を記載
 ※2 サイズは、目視により確認できる生存部を測定し、それぞれを記載
 ※3 その他の異常は、病気、他生物による被覆、物理的損傷を記載

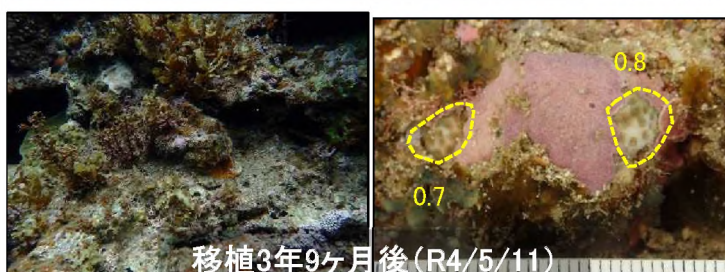
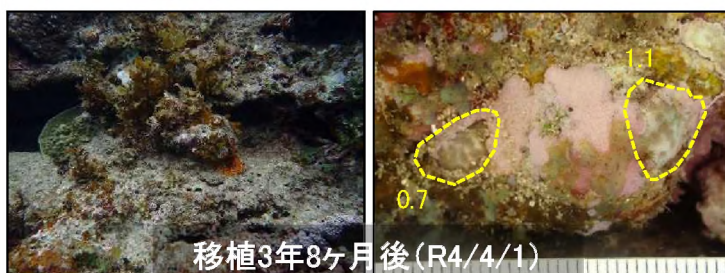
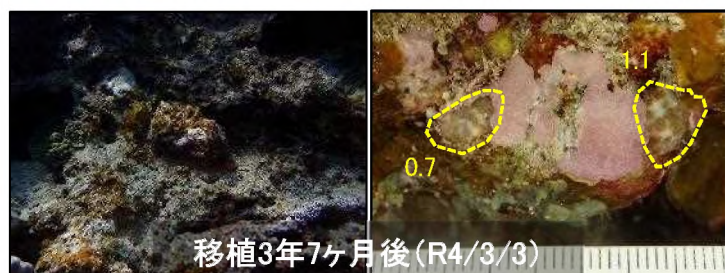
(3)オキナワハマサンゴ(No.17)の移植先でのモニタリング状況

(平成30年8月3日、移植作業を実施)

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。

移植後の状況

移植後の目視観察結果の概要



項目	内容			
	移植直後	移植3年7ヶ月後	移植3年8ヶ月後	移植3年9ヶ月後
調査時期	移植直後	移植3年7ヶ月後	移植3年8ヶ月後	移植3年9ヶ月後
調査年月日	H30/8/9	R4/3/3	R4/4/1	R4/5/11
調査時刻	10:50~11:37	11:45~11:55	8:50~9:00	11:51~12:01
調査場所	※ 重要な種の保護の観点から表示していません。			
水深(m) ^{※1}	3.2m	3.2m	4.0m	3.9m
水温(°C)	29°C	21°C	22°C	24°C
底質(比率)	岩盤90%、砂10%			
浮泥の状況	少ない(はたけば舞う程度)			
海草類被度	0%	0%	0%	0%
海藻類被度	5%	5%未満	5%未満	5%未満
サンゴ被度	10%	10%	10%	10%
サイズ(長径) ^{※2} (cm)	5.6cm	左 0.7cm 右 1.1cm	左 0.7cm 右 1.1cm	左 0.7cm 右 0.8cm
食害状況	なし	なし	なし	なし
白化状況	部分的に白化	全体的に白化	全体的に白化	全体的に白化
その他の異常 ^{※3}	なし	なし	なし	なし
再生産状況 [延べ幼生放出確認数]	なし	なし [31個体]	なし [31個体]	なし [31個体]
特記事項				一部、ポリプ・共肉が確認できないことから長径を縮小。

※1 水深は、モニタリング実施時の実水深を記載
 ※2 サイズは、目視により確認できる生存部を測定し、それぞれを記載
 ※3 その他の異常は、病気、他生物による被覆、物理的損傷を記載

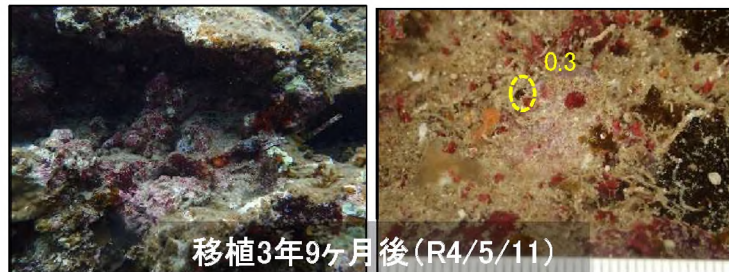
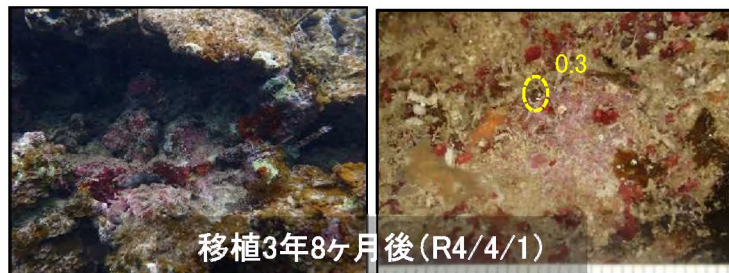
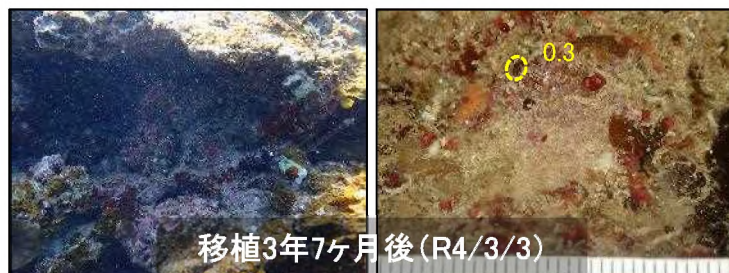
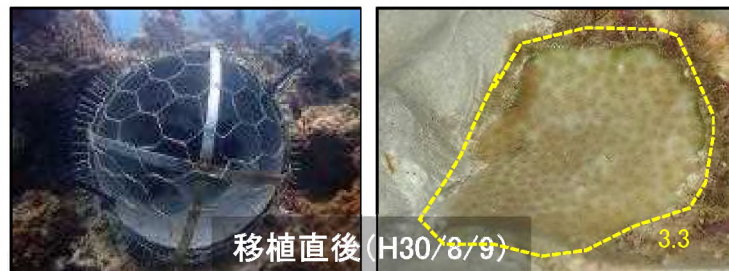
(4)オキナワハマサンゴ(No.20)の移植先でのモニタリング状況

(平成30年8月3日、移植作業を実施)

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。

移植後の状況

移植後の目視観察結果の概要



項目		内容			
諸元	調査時期	移植直後	移植3年7ヶ月後	移植3年8ヶ月後	移植3年9ヶ月後
	調査年月日	H30/8/9	R4/3/3	R4/4/1	R4/5/11
	調査時刻	15:01~15:13	10:55~11:05	7:50~8:00	11:05~11:15
	調査場所	※ 重要な種の保護の観点から表示していません。			
生息環境	水深(m)※1	5.1m	4.3m	5.1m	4.3m
	水温(°C)	29°C	21°C	22°C	24°C
	底質(比率)	岩盤80%、砂20%			
	浮泥の状況	少ない(はたけば舞う程度)			
	海草類被度	0%	0%	0%	0%
群体の状況	海藻類被度	10%	5%未満	5%未満	5%未満
	サンゴ被度	10%	10%	10%	10%
	サイズ(長径)(cm)	3.3cm	0.3cm	0.3cm	0.3cm
	食害状況	なし	なし	なし	なし
	白化状況	部分的に白化	なし	なし	なし
群体の状況	その他の異常※2	なし	なし	なし	なし
	再生産状況 [延べ幼生放出確認数]	なし	なし [10個体]	なし [10個体]	なし [10個体]
特記事項					

※1 水深は、モニタリング実施時の実水深を記載

※2 その他の異常は、病気、他生物による被覆、物理的損傷を記載

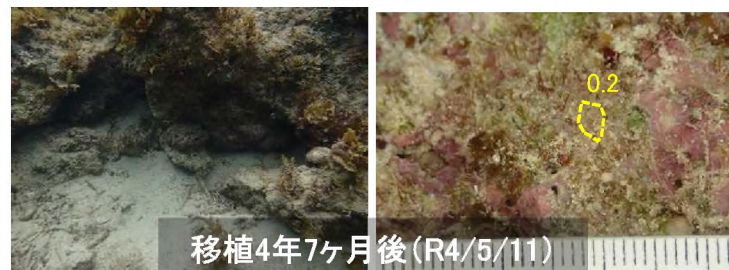
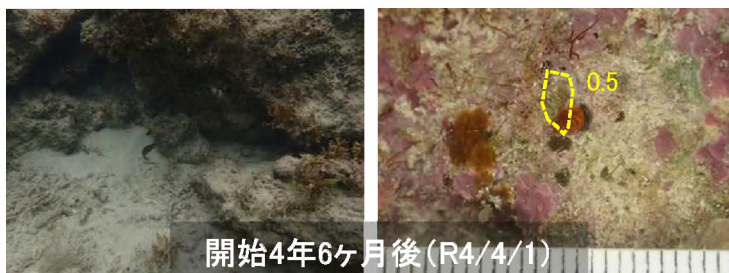
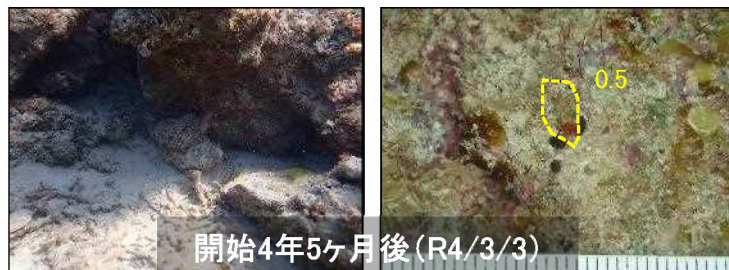
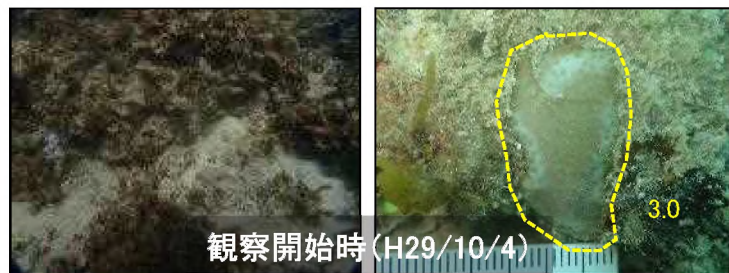
2. 移植先に元々生息していたオキナワハマサンゴの生息状況について

(1) ※ 重要な種の保護の観点から表示していません。 オキナワハマサンゴ・2 (平成29年10月4日、観察開始)

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。

生息状況

目視観察結果の概要



項目	内容				
	観察開始時	開始4年5ヶ月後	開始4年6ヶ月後	開始4年7ヶ月後	
諸元	調査時期	H29/10/4	R4/3/3	R4/4/1	R4/5/11
	調査年月日	9:43~9:53	9:52~10:02	10:20~10:30	9:52~10:02
	調査時刻	※ 重要な種の保護の観点から表示していません。			
	調査場所	※ 重要な種の保護の観点から表示していません。			
生息環境	水深(m)※1	3.7m	3.6m	3.1m	3.3m
	水温(°C)	29°C	20°C	22°C	24°C
	底質(比率)	岩盤50%、砂50%			
	浮泥の状況	少ない(はたけば舞う程度)			
群体の状況	海草類被度	0%	0%	0%	0%
	海藻類被度	20%	5%未満	5%未満	5%未満
	サンゴ被度	5%未満	5%未満	5%未満	5%未満
	サイズ(長径)(cm)	3.0cm	0.5cm	0.5cm	0.2cm
	食害状況	なし	なし	なし	なし
	白化状況	全体的に白化	なし	なし	全体的に白化
	その他の異常※2	なし	なし	なし	なし
	再生産状況 [延べ幼生放出確認数]	なし	なし [0個体]	なし [0個体]	なし [0個体]
特記事項				一部、ポリプ・共肉が確認できないことから長径を縮小。	

※1 水深は、モニタリング実施時の実水深を記載

※2 その他の異常は、病気、他生物による被覆、物理的損傷を記載

(2)

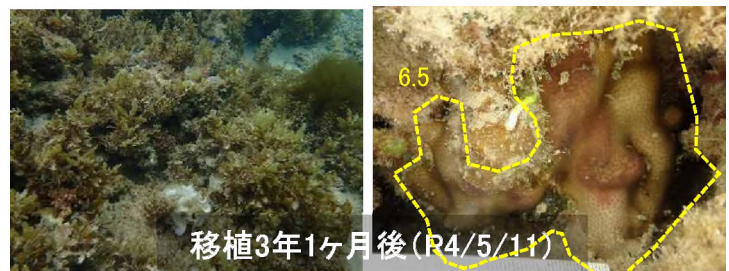
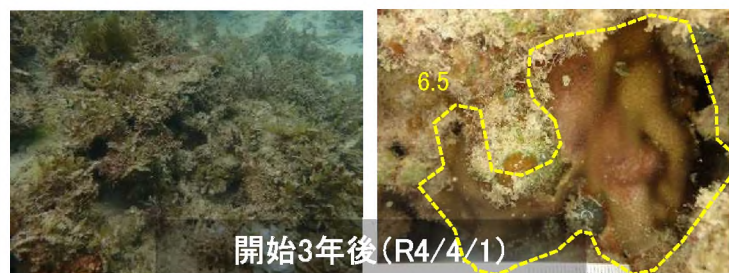
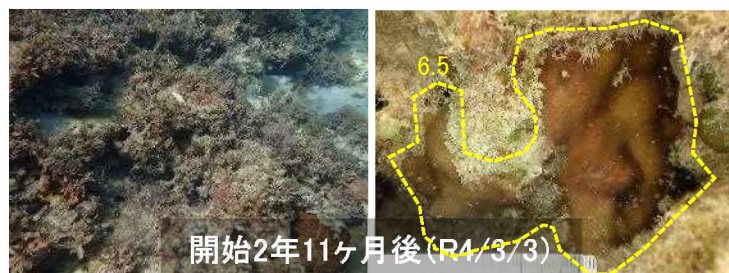
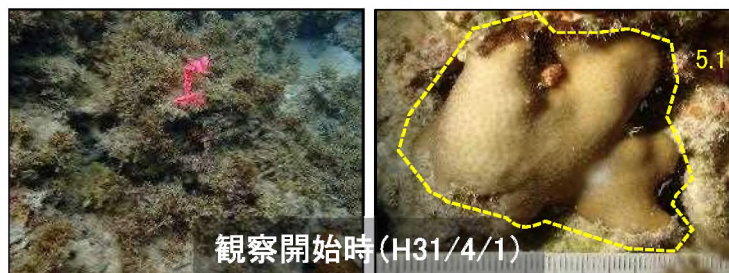
※ 重要な種の保護の観点から表示していません。

オキナワハマサンゴ・6 (平成31年4月1日、観察開始)

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。

生息状況

目視観察結果の概要



項目		内容			
諸元	調査時期	観察開始時	開始2年11ヶ月後	開始3年後	開始3年1ヶ月後
	調査年月日	H31/4/1	R4/3/3	R4/4/1	R4/5/11
	調査時刻	9:00~9:10	9:30~9:40	10:42~10:52	9:30~9:40
	調査場所	※ 重要な種の保護の観点から表示していません。			
生息環境	水深(m) ^{※1}	3.5m	3.7m	3.0m	3.3m
	水温(°C)	21°C	20°C	22°C	24°C
	底質(比率)	岩盤80%、砂20%			
	浮泥の状況	少ない(はたけば舞う程度)			
	海草類被度	0%	0%	0%	0%
	サンゴ被度	5%未満	5%未満	5%未満	5%未満
群体の状況	サイズ(長径)(cm)	5.1cm	6.5cm	6.5cm	6.5cm
	食害状況	なし	なし	なし	なし
	白化状況	なし	なし	なし	なし
	その他の異常 ^{※2}	なし	なし	なし	なし
再生産状況 [延べ幼生放出確認数]	なし	なし [7個体]	なし [7個体]	なし [7個体]	
特記事項					

※1 水深は、モニタリング実施時の実水深を記載
 ※2 その他の異常は、病気、他生物による被覆、物理的損傷を記載

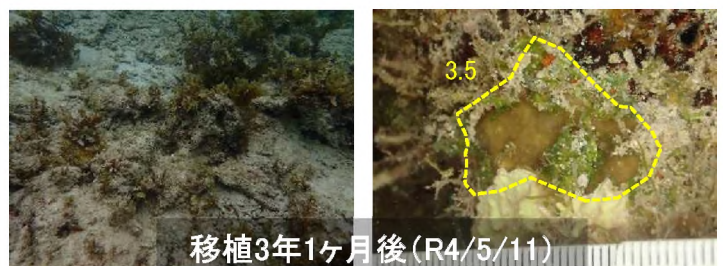
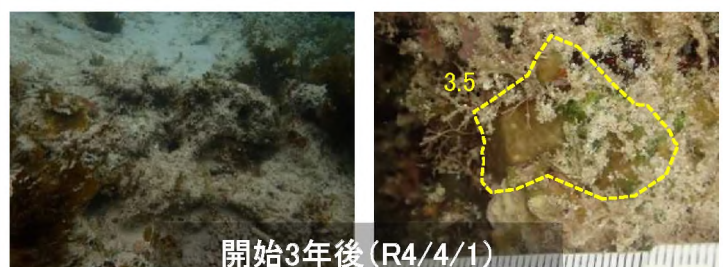
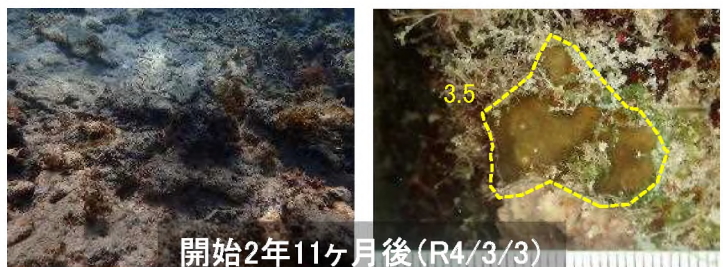
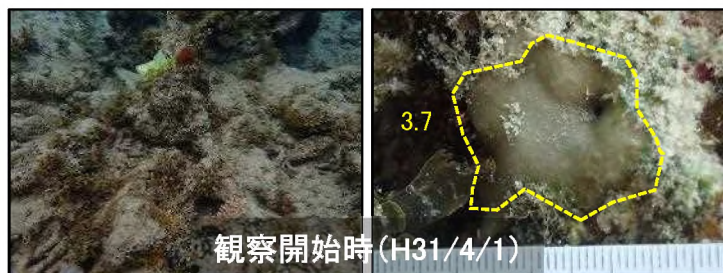
(3)

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。

オキナワハマサンゴ・7 (平成31年4月1日、観察開始)

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。

生息状況



目視観察結果の概要

項目		内容			
諸元	調査時期	観察開始時	開始2年11ヶ月後	開始3年後	開始3年1ヶ月後
	調査年月日	H31/4/1	R4/3/3	R4/4/1	R4/5/11
	調査時刻	9:00~9:10	10:05~10:15	10:10~10:20	10:02~10:12
	調査場所	※ 重要な種の保護の観点から表示していません。			
生息環境	水深(m) ^{※1}	3.1m	3.5m	3.1m	3.1m
	水温(°C)	21°C	20°C	22°C	24°C
	底質(比率)	岩盤80%、砂20%			
	浮泥の状況	少ない(はたけば舞う程度)			
	海草類被度	0%	0%	0%	0%
	海藻類被度	5%	5%未満	5%未満	5%未満
群体の状況	サンゴ被度	5%未満	5%未満	5%未満	5%未満
	サイズ(長径)(cm)	3.7cm	3.5cm	3.5cm	3.5cm
	食害状況	なし	なし	なし	なし
	白化状況	なし	なし	なし	なし
	その他の異常 ^{※2}	なし	なし	なし	なし
再生産状況 [延べ幼生放出確認数]	なし	[0個体]	[0個体]	[0個体]	
特記事項		一部、ポリプ・共肉が確認できない状況。	部分死を確認。	一部、ポリプ・共肉が確認できない状況。	

※1 水深は、モニタリング実施時の実水深を記載

※2 その他の異常は、病気、他生物による被覆、物理的損傷を記載

(4)

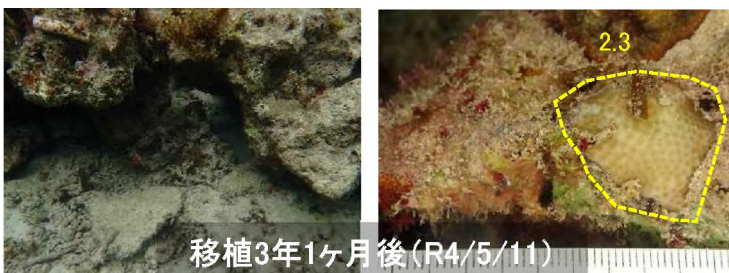
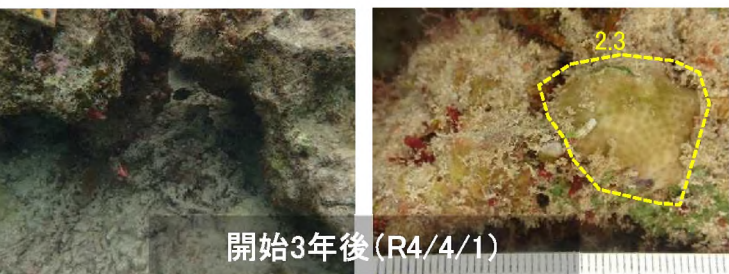
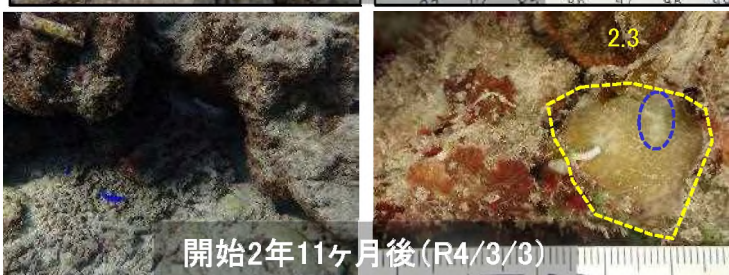
※ 重要な種の保護の観点から表示していません。

オキナワハマサンゴ・8 (平成31年4月1日、観察開始)

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。

生息状況

目視観察結果の概要



凡例: ○ 物理的損傷跡

項目		内容			
諸元	調査時期	観察開始時	開始2年11ヶ月後	開始3年後	開始3年1ヶ月後
	調査年月日	H31/4/1	R4/3/3	R4/4/1	R4/5/11
	調査時刻	9:43~9:53	9:41~9:51	10:31~10:41	9:41~9:51
	調査場所	※ 重要な種の保護の観点から表示していません。			
生息環境	水深(m)※1	3.1m	3.4m	2.9m	3.1m
	水温(°C)	21°C	20°C	22°C	24°C
	底質(比率)	岩盤70%、砂30%			
	浮泥の状況	少ない(はたけば舞う程度)			
	海藻類被度	0%	0%	0%	0%
	サンゴ被度	5%未満	5%未満	5%未満	5%未満
群体の状況	サイズ(長径)(cm)	6.8cm	2.3cm	2.3cm	2.3cm
	食害状況	なし	10/16に確認された食痕らしき箇所の回復を確認	なし	なし
	白化状況	なし	なし	なし	なし
	その他の異常※2	なし	1/5に確認された物理的損傷跡は褐色を呈している。	1/5に確認された物理的損傷跡の回復を確認。	なし
	再生産状況 [延べ幼生放出確認数]	なし	なし [1個体]	なし [1個体]	なし [1個体]
特記事項					

※1 水深は、モニタリング実施時の実水深を記載

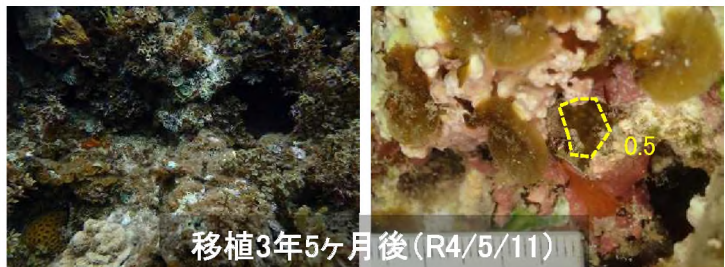
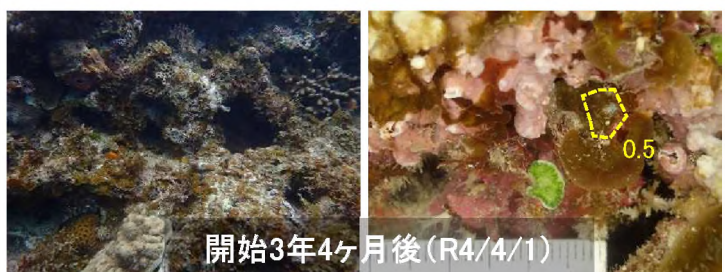
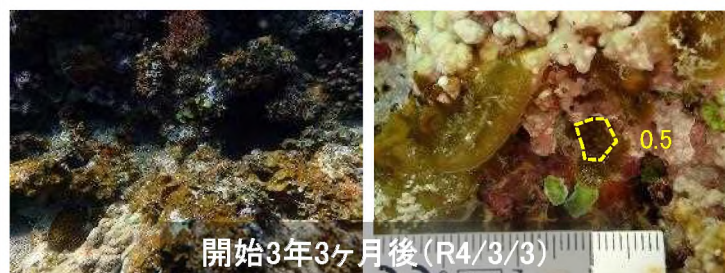
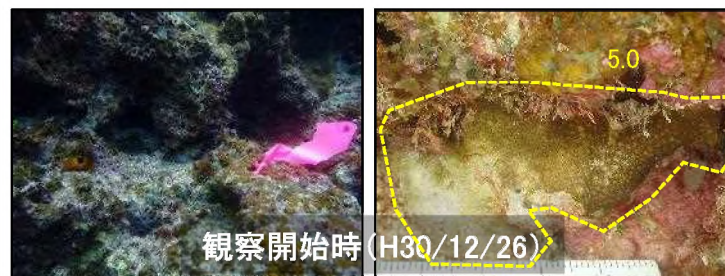
※2 その他の異常は、病気、他生物による被覆、物理的損傷を記載

(5) ※ 重要な種の保護の観点から表示していません。 オキナワハマサンゴ・4 (平成30年12月26日、観察開始)

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。

生息状況

目視観察結果の概要



項目		内容			
諸元	調査時期	観察開始時	開始3年3ヶ月後	開始3年4ヶ月後	開始3年5ヶ月後
	調査年月日	H30/12/26	R4/3/3	R4/4/1	R4/5/11
	調査時刻	12:04~12:14	11:17~11:27	8:10~8:20	11:28~11:38
	調査場所	※ 重要な種の保護の観点から表示していません。			
生息環境	水深(m) ^{※1}	4.7m	3.9m	5.1m	4.1m
	水温(°C)	24°C	23°C	22°C	24°C
	底質(比率)	岩盤70%、砂30%			
	浮泥の状況	少ない(はたけば舞う程度)			
	海草類被度	0%	0%	0%	0%
群体の状況	海藻類被度	5%未満	5%未満	5%未満	5%未満
	サンゴ被度	10%	10%	10%	10%
	サイズ(長径)(cm)	5.0cm	0.5cm	0.5cm	0.5cm
	食害状況	なし	なし	なし	なし
	白化状況	なし	なし	なし	なし
群体の状況	その他の異常 ^{※2}	なし	なし	なし	なし
	再生産状況 [延べ幼生放出確認数]	なし	なし [5個体]	なし [5個体]	なし [5個体]
特記事項					

※1 水深は、モニタリング実施時の実水深を記載

※2 その他の異常は、病気、他生物による被覆、物理的損傷を記載

3. 移植したオキナワハマサンゴと移植先に元々生息していたオキナワハマサンゴのまとめ

(1) オキナワハマサンゴ群体の外観の変化について

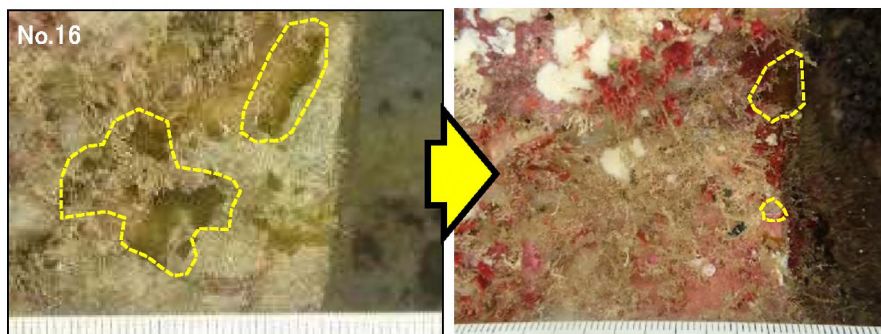
① 移植したオキナワハマサンゴ

移植から約3年9ヶ月が経過しているところ。移植後のオキナワハマサンゴ群体の状況について、移植直後と比較して、3群体で生存部が縮小。



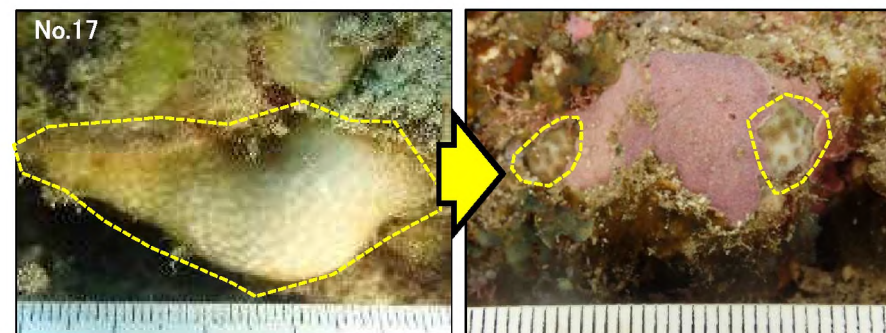
モニタリング実施状況
(撮影日: 令和4年5月11日)

● 移植直後と比較して、生存部が縮小



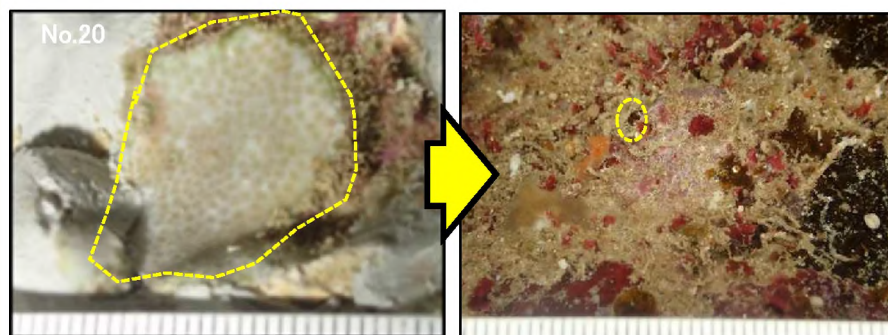
No.16
平成30年8月17日撮影
(同年7月30日移植)

令和4年5月11日撮影
(移植3年9ヶ月後)



No.17
平成30年8月17日撮影
(同年8月3日移植)

令和4年5月11日撮影
(移植3年9ヶ月後)



No.20
平成30年8月8日撮影
(同年8月3日移植)

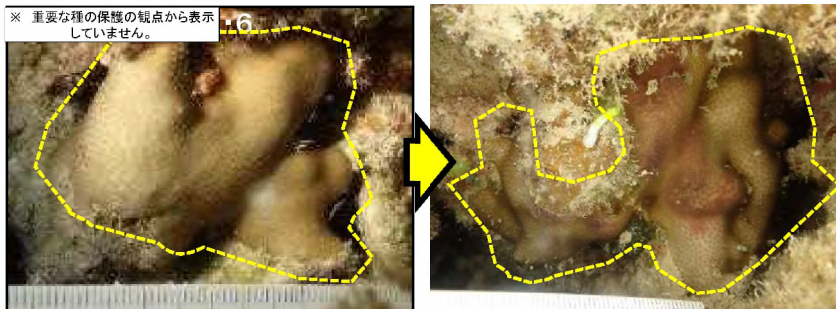
令和4年5月11日撮影
(移植3年9ヶ月後)

②移植先に元々生息していたオキナワハマサンゴ

モニタリング開始時と比較して、1群体は良好な状態、4群体で生存部の縮小を確認した。

●モニタリング開始時と比較して、良好な状態

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。



平成31年4月1日(開始時)

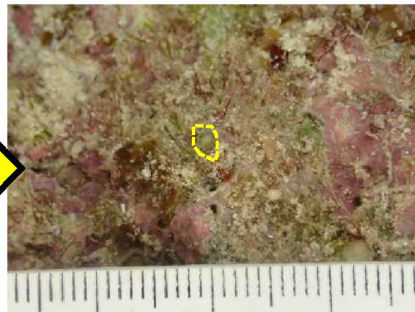
令和4年5月11日撮影

●モニタリング開始時と比較して、生存部が縮小

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。



平成29年10月4日(開始時)

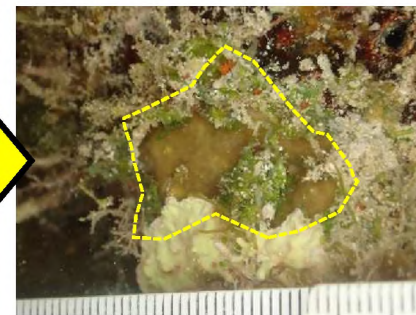


令和4年5月11日撮影

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。

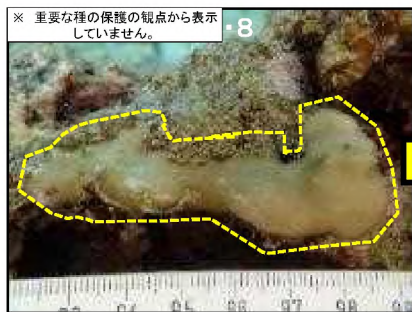


平成31年4月1日(開始時)

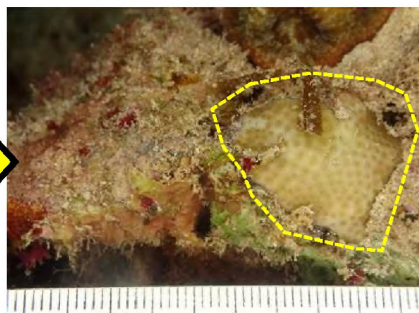


令和4年5月11日撮影

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。



平成31年4月1日(開始時)



令和4年5月11日撮影

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。



平成30年12月26日(開始時)



令和4年5月11日撮影

※ 群体No.の『オキナワハマサンゴ』省略

(4) サンゴ類の生息環境に係る水質調査について

移植したレッドリストサンゴに係る水質等測定結果について整理。

移植後の調査地点は、レッドリストサンゴの移植先として④及び⑦、対照区として③-A, Bを設定。

平成29年10月～平成31年4月までは、調査員による現地観測と観測機器による連続観測の併用で調査を実施。令和元年5月からは、全地点において観測機器による連続観測に変更(観測開始日:平成31年4月24日(④・⑦),令和元年5月8、9日(③-A, B))して調査を継続中。

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。

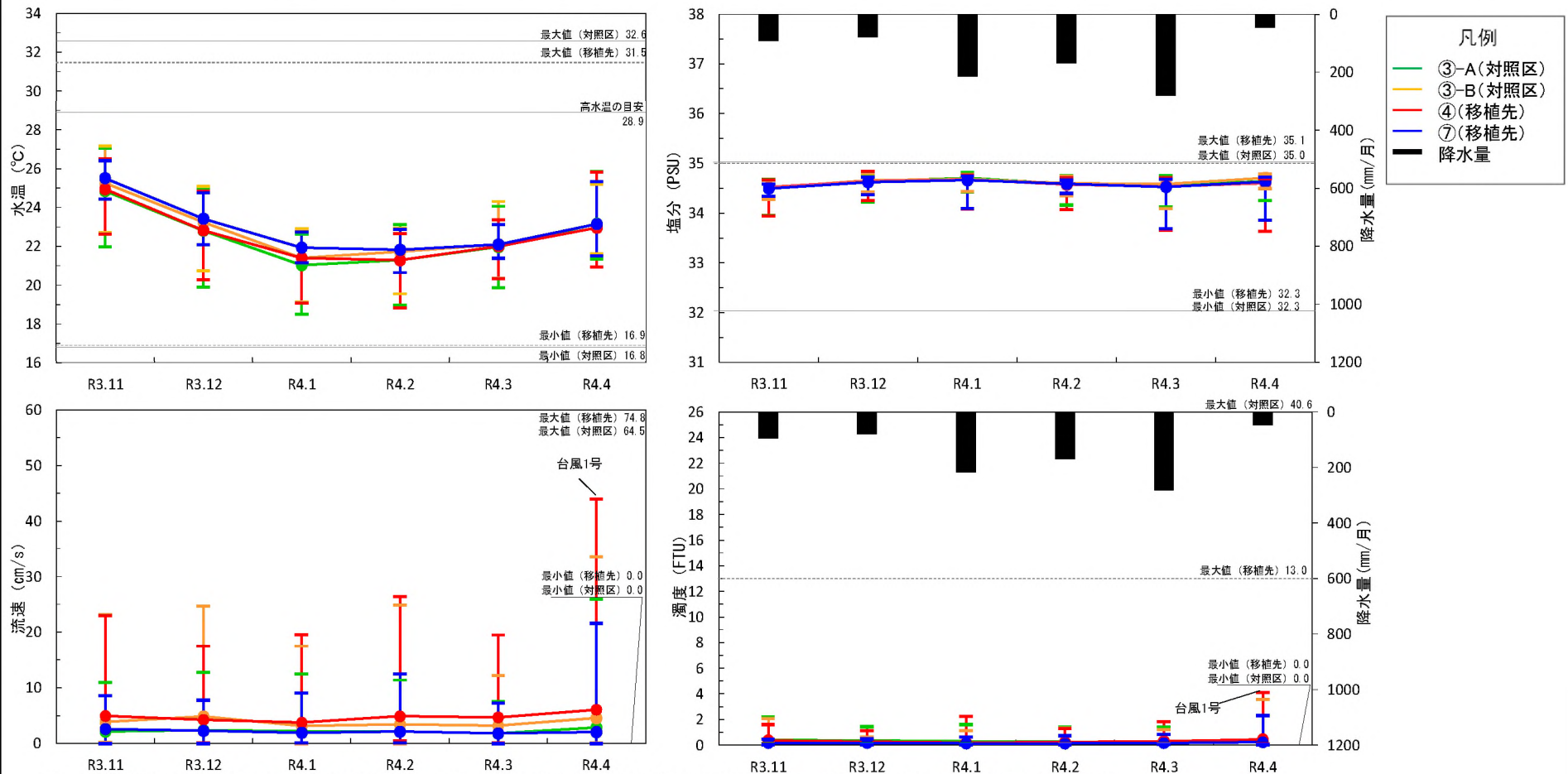


観測機器の設置状況

レッドリストサンゴに係るモニタリング地点

平成31年4月24日～令和4年4月26日の連続観測結果を整理。うち、直近6ヶ月間の月平均観測結果を示す。
 水温は、11月から1月にかけて低下傾向にあり、2月から4月にかけて上昇傾向にあることを観測。
 流速は、各地点とも概ね10cm/s以下の弱い流れで推移。令和4年4月に台風による速い流速を観測。
 塩分は、各地点とも通常時では概ね34～35の範囲で推移。降水量の多い月に一時的な塩分低下を確認。
 濁度は、各地点とも通常時では概ね1FTU前後で推移。台風の接近による底質の巻き上げや河川濁水の流入によるとみられる濁度の一時的な上昇を確認。

移植先(④⑦)の値は、現地観測期間も含め移植を行った平成30年7月27日以降、対照区の観測値の範囲から大きく外れるような値が継続する様子もみられず、サンゴの生息に影響を与えるような特異なデータは確認されていないと判断。



※1 降水量は気象庁東観測所のデータを引用。 ※2 図中の最大値・最小値は平成30年7月27日～令和3年10月31日で集計した結果を示す。
 ※3 エラーバーは最小値～最大値の範囲を示す。 ※4 台風1号は沖縄島から300km以上離れた位置を通過していたため、台風接近の矢印ではなく図中に別途示す。
 ※5 令和4年4月の月平均値は、令和4年4月1日～令和4年4月26日の観測値を集計。